

## 2014国際教養科 NEWS 5月(2)

### 異文化理解授業体験発表② “フランス・韓国研修プレゼンテーション”

国際教養科3年7組陸実結さんが、コリブリ日仏高校ネットワーク事業で、H26年3月15日～4月6日(3週間)フランスへ、依田寧央さんはクムホ・アジアナ杯「話してみよう韓国語」の日本語エッセイ部門審査員特別賞でH25年7月30日～8月3日まで韓国へ、越朝佳さんは文部科学省日韓高校生交流派遣事業でH25年10月27日～の5泊6日で韓国の高校生と交流し、相互理解を深めてきました。倉井千奈さんは、未来塾ながのin韓国でH25年11月17日～23日まで韓国へ行き、現地の高校生と交流を深めてきました。その体験発表と彼らの経験を共有する異文化理解授業がありました。



パリの美しい町並みとルーブル美術館の美術品にみんなの目は釘付け！フランスの留学生テレーズの姿も懐かしかった！フランスのおいしそうなお家庭料理やデザートにも、ため息と感嘆の声



★フランスについて、私はあまり知らなかったもので、いろいろな人種がいて、皆自然に馴染んでいるということが驚きだった。

★パリの公害に対する取り組みが一番印象に残っています。特に、自転車を30分無料で借りることができる仕組みには感動しました。日本にもこんな自転車を借りられるシステムがあると、より多くの人々が環境問題に取り組もうと思うのではないかと思います。自動車のナンバーによって、交通規制をかけることはとても良いアイデアだと思ったし、公害がひどい日は、地下鉄を無料にするなどが、目先の利益だけでなく遠

い未来のことを考えて、会社や人々が取り組んでいるのはすばらしいと思いました。

★パリに日本人街があるということを知らなかったもので、聞いてびっくりしました。また、日本のいろいろなものがパリでも人気があると聞いて、なんだか嬉しく感じました。また、お家で出される食事がレストランで出てくる食事のようでびっくりしました。おやつもとてもおいそうで、時間をかけておしゃべりしながらおやつや食事をする様

子は、食文化を大事にしていることがよく分かりました。

★フランスが地球温暖化対策に熱心だというイメージがあまりなかったので、レンタル自転車などの話は興味深かった。中でも自動車のナンバーでの規制はおもしろいと思った。日本でも実施すれば良いと思う。

★フランスが観光地として人気がある理由が分かった気がしました。古い町並み、芸術、伝統、ファッション、食が小さな町にあんなに詰まっているのはとても観光するのにステキな場所だと思いました。また、他民族国家というところも良いと思いました。自転車や地下鉄を使うエコは良いと思いました。パリの写真はとてもきれいで、古き良き風景が残っていて行ってみたいくなりました。

★人種ごとに集まらず、誰とでも仲良くオープンな感じがすごくステキだと思った。



★インターネットの情報に惑わされる人が多いと2人の話を聞いて思った。お店に入る時にその国の言葉で挨拶をしてくれたり、会話をしてくれるというのはビジネスの上でとても役立っているのではないかなと思う。韓国は、北朝鮮ともっと中がよいと思っていたけれど、金網があったり警備の人がいるというのは驚きだった。みんな貴重な経験をされていて良いなと思った。

★韓国から北朝鮮が見えるというのは知っていたけれど、一度も見たことはないなので、すごく興味深かった。韓国の歴史的な部分についても知ることがすごく大切

なことだと感じた。

★韓国は集中したらすごいと思った。極めたい物があつたらそれをとことん追求してやり抜く感じがする。大学の講堂がその良い例で、本当に豪華で撮影に使うというのはなかなかすごい。

★美容大国らしく女性の美意識の高さにとても驚きました。韓国は日本人も行きやすそうなので、1度行ってみたいと思いました。

★韓国に対する私のイメージはあまりよくありませんでした。日本に対してどのような気持ちを国民1人1人が持っているのか知りたかったのですが、プレゼンを聞いて韓国の人々は、日本語を話す人が多かったり、国民1人1人はいい人なのかなと思いました。インターネットなどに出る情報ばかりを信じて国を判断するのはどんな国においてもやってはいけないことで、自分で見た物、自分が体験したことを、自分の意見やその国に対する考えにしていこうと思いました。私もみんなのようにいろいろな国へ行って、考えを深めたり視野を広げたいです。

★情報を取捨する力がこの時代を生きる私たちにとって必要なのだと感じました。男女間がフレンドリーで紳士的と感じ、自分から話しかける力と共に、その会話自体を楽しみ、学び、自分の力にしたいと感じました。

★今まで韓国は近いようで遠い国だと感じていましたが、韓国の古い建物や人はとても興味が持てる物が多く、せつかく近い日本に住んでいるのだから、1回行ってみたいと思いました。ミョンドンという通りではお店の人が日本語をしゃべることができたり、中国語をしゃべれたりするそうで、それは日本でお店を営んでいる人たちもそうやってどんどん外国の観光客に親しみやすくすることで、お店に来てくれる人も増えるのではないかと思います。

★給食も辛い物ばかりなのはさすがだなと思いました。日本は島国だから、北朝鮮と韓国が仕切られている様子を見るのは不思議な感覚だと感じました。同い年くらいの学生でたくさん交流できるのは、いろいろなことが知れそうで、良いことだと改めて感じました。

★メディアやその他の媒体(インターネット)が我々に施す情報とは、実際は全く異なることを知った。「近いようで遠い国」日韓関係の悪化はあくまで政治、国家間の話であり、民間レベルではないと思います。「相互理解」というテーマに基づいて、これからは我々若者が活発に行動し、友達の輪を広げて行くことが最も大切であると感じました。

★韓国の高校の様子を見るのがあまりないので興味深かった。日韓の交流の様子を見ていると日本と韓国はもっと仲良くなれるはずだと感じた。学生間での交流はもっとお互いに近づけると思うし、いろいろなことも学べると思うのでいつかやってみたい。

★韓国のプレゼンでは、一番興味を持ったのが韓国と北朝鮮の境界線の話でした。境界線には兵士がいて、ニュースで報道されているように、緊張感が漂っていることがわかりました。韓国の観光地で、店員が日本語や中国語を話せることにびっくりしました。日本の観光地もそうならばいいなと思いました。韓国の女の子たちの美容に対する意識に驚いたし、男の子の優しさにもびっくりしました。男子はとても家族的で料理も自分で作ったりするところは日本人も見習いたいと思いました。

★最後に朝佳が「個人間の繋がりには厚い」と言っていたが、多くの人と繋がりを持てば、平和は訪れるんだと思った。

★フランスで興味があった写真は、レアのお父さんが作ってくれた料理と、レンタル自転車の写真です。男性が女性のために料理を作ることが家庭で行われているなんて、とても西洋的という感じがしました。レンタル自転車のシステムは、地球温暖化に対しての政策がすごく活発だと思いました。金銭的にも優しくて、良いシステムだなと思いました。日本ではそういう目立った地球温暖化対策がないので、市民も使いやすい政策を考えるべきだと思いました。ソウルはすごく車の通りも多くて、日々栄えていると韓国語の先生が言っていたけれど、東京の方が栄えていることを初めて知ることができました。また、韓国の高校や大学のことが、写真から見ることができました。高校でも給食が出るシステムは、日本でもやってほしいと思いました。

★自分が韓国に住みながらも、行ったことのない場所、経験したことのないことについて知るようになって、すごく面白かった。外国の人から見たらこういう風に思うんだ、と思ったことがたくさんあって、新しい経験だった。

★日本の良いところもあるけど、どこの国でも良いところはあると思うので、お互い共有できたら、全ての国が良くなっていくのかなと思いました。メディアの発達で他国を知ることは簡単にはなったけれど、一番よく知るためには、現地に行くことが大切だなと思いました。

★パリは広いというイメージを勝手に抱いていたけれど、話を聞いているとパリはすごく狭いんだと思った。人種の壁を気にせずに、色々な人と話ができたり交流ができて、とても充実した3週間だったのだと思った。世界遺産にもなっているような場所が1カ所に集中しているようで、とても楽しそうだった。日本の文化を色々な人が知っていて嬉しかった。フランスにも日本人街があるなんてびっくりした。モナリザの絵があんなに小さいとは思わなかった。日本語を話す人が想像より多くてびっくりした。学生同士の交流は、今の日韓関係のようなぎこちなさや陰湿なムードはなかったのだから、韓国の人たちとはきっと仲良くなれると思った。